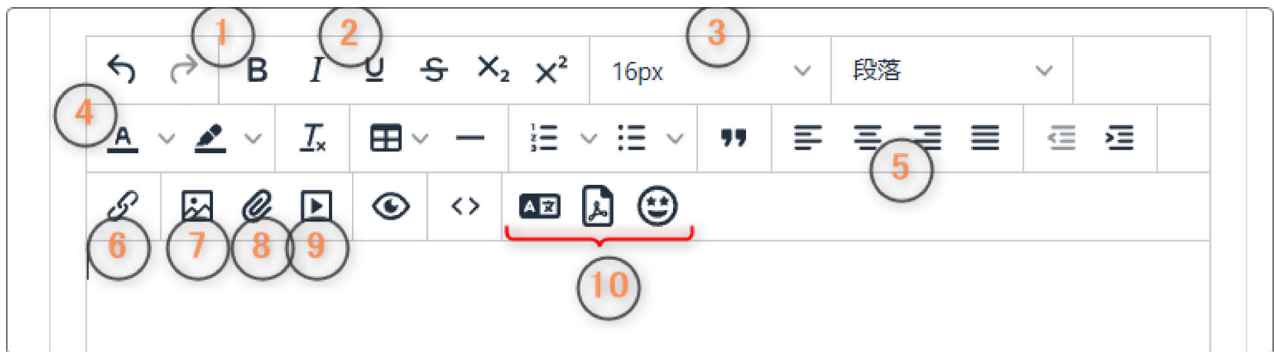


# WYSIWYGの入力方法

2024/06/04  
2025/04/21 改  
2025/05/22 改


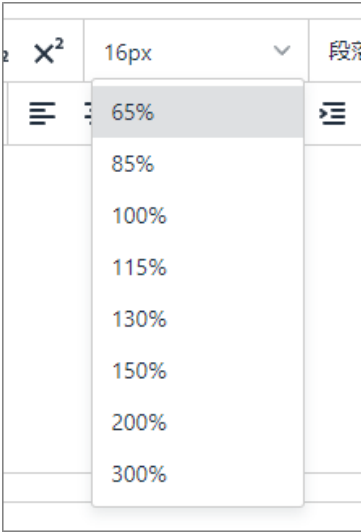





WYSIWYG（ウィジウィグ）<sup>1</sup>を使って入力する方法を説明します。これは、固定記事やブログ等の基本的な入力方法です。

記事の入力画面では、文字を入力するだけでなく、範囲を指定して文字を装飾したり画像やファイルの挿入などの機能があります。



<sup>1</sup> WYSIWYG（What You See Is What You Get）とは、文書作成・編集ソフトウェアなどの特性の一つで、最終的な仕上がりを画面上に表示して確認しながら編集できるという意味です。そのような編集システムを「WYSIWYGエディタ」と呼ぶことがあります。

以下、①～⑩のメニューの主なアイコンの説明です。

① <b>B</b>	指定された文字を <b>太字</b> にします。
② <u>U</u>	指定された文字に <u>下線</u> を引きます。
③ 	<p>範囲を指定して、Vを押下すると文字の大きさを変更することができます。</p>  <p>Connect-CMSにおける文字の大きさは相対的に（%で）指定します。 初期設定は標準の16px（100%）です。</p> <p>実際の大きさはいろいろと試してみてくださいご確認ください。</p>
④ 	<p>指定された文字の色を変更できます。</p>  <p>Vを押下してパレットを開くと色を指定することができます。</p> <p>を押下するとさらに詳細な色指定をすることができます。</p> 
⑤ 	左から「左揃え」、「中央揃え」、「右揃え」、「両端揃え」になります。

<p>⑥ </p>	<p>指定された文字にリンクを貼ることができます。</p> <div data-bbox="502 302 1236 884">  </div> <p>リンクを入力⇒リンクの開き方を設定⇒保存 でリンクを設定できます。  <u>基本的に同じサイト内にリンクを貼りたい場合は「同じウィンドウ」、別のサイト内にリンクを貼りたい場合は「新規ウィンドウ」に設定します。</u>          ページ内リンクについては、</p>
<p>⑦ </p>	<p>指定した箇所に画像を挿入します。</p>
<p>⑧ </p>	<p>指定した箇所にPDFなどのファイルを挿入します。          アイコンを押下すると選択画面になるので、そこからパソコン内のファイルを指定してアップロードします。</p>
<p>⑨ </p>	<p>動画ファイルを挿入したり、YouTubeなどから埋め込むことができます。</p>
<p>⑩   </p>	<p>左から「翻訳」（入力された日本語を他の言語に翻訳します）、「pdfアップロード」（アップロードされたpdfから自動的にサムネイルを作成します）、「AI顔認証」（AIを使って顔認証を行います）<sup>2</sup></p>

<sup>2</sup> これらの機能はサイトによっては非対応です。また、開発途中の機能もあります。


## 💡【ファイルアップロードについて】

PDFファイルはじめ、各種ファイルを記事内に挿入するには3つの方法があり、いずれの方法もメリット・デメリットがあります。

挿入したい場面に応じて適切な挿入方法を使い分けましょう。

なお、1度にアップロードできるファイルサイズはサイトによって変わります。

### 1. ファイルを直接PCから挿入する

メニューアイコン一覧から （ファイルアップロード）機能を使ってPC内のファイルを記事内に直接挿入します。

※PDFファイル以外のファイルも可。

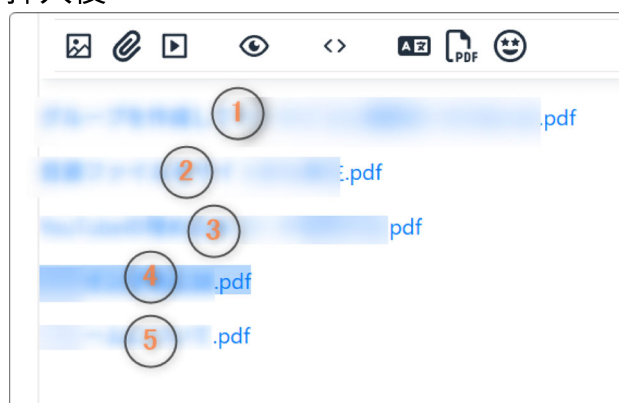
#### ・メリット

- ① 簡単に挿入でき、さらに一度に複数のファイルを挿入することができます。
- ② PDFファイル以外の画像ファイルなども挿入できます。

挿入時




挿入後



#### ・デメリット

- ① 表示されるのがURLのみなので、サムネイルを表示したい場合は別途画像を用意する必要があります。
- ② 過去に挿入したファイルを複数の記事の中から探すのに手間がかかります。
- ③ 記事を削除してもファイルがサーバ上に残ってしまうため、完全にファイルを削除するには、管理者メニューからファイルを別途削除する必要があります。（管理者権限が必要になります。）

## 2. ファイルをURLで挿入する

メニューアイコン一覧から （リンクの挿入/編集）機能を使ってあらかじめ作っておいたキャビネットに格納したファイルへのリンクを取得し、そのリンクを挿入します。

※PDFファイル以外のファイルも可

### ・メリット

- ① URLリンクなので、特定のテキストに表示させることができます。
- ② タイトル（オンマウスしたときに表示される文字）を設定できます。
- ③ 押下したときの動作（リンクの開き方）を特定することができます。
- ④ ファイルはキャビネット内にあるので、ファイルの管理が楽になります。  
キャビネット内のファイルは、削除されるとサーバ上からも削除されます。
- ⑤ 複数のページやフレームにファイルを挿入したい場合に、同じURLをコピー＆ペーストするだけですむので挿入が楽になります。

挿入時



リンクの挿入/編集

URL  
http://[redacted]/file/283

※ アップロードできる1ファイルの最大サイズ: 40M

表示するテキスト  
こちら

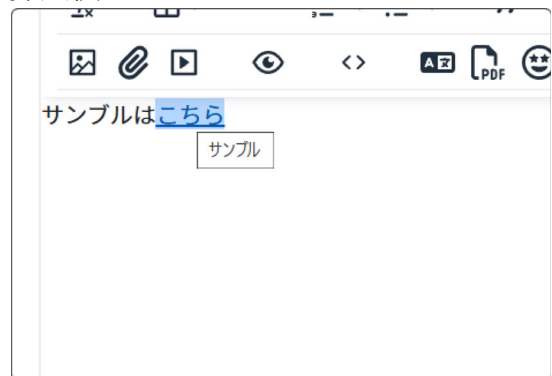
タイトル  
サンプル

リンクの開き方...  
新規ウィンドウ

同じウィンドウ

新規ウィンドウ

挿入後




### ・デメリット

- ① 別途キャビネットを作成して、リンクを取得する準備をする必要があります。
- ② 文字で挿入されるので、サムネイルが必要な場合は別途画像を準備する必要があります。

※キャビネットからURLを取得する方法は別途キャビネットのマニュアルで説明します。

### 3. PDFアップロード機能を使う

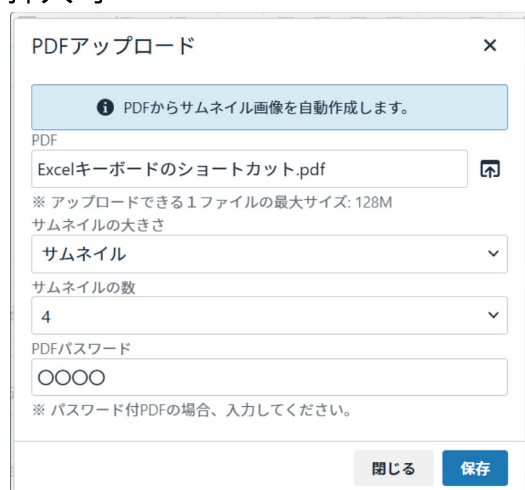
メニューアイコン一覧から  (PDFアップロード) 機能を使って、PDFファイルのアップロードとサムネイル（画像）作成を同時に行います。

※PDFファイルのみ可

#### ・メリット

- ① PDFファイルを挿入するときに自動的にサムネイルを作成することができます。
- ② 画像の大きさは「サムネイル」～「大」の中から選択することができるので、内容に応じて簡単に使い分けることができます。
- ③ サムネイルを作成する数（ページ数）を指定することができます。
- ④ パスワード付きのPDFも使うことができます。

挿入時



挿入後



※PDFファイルにすでにパスワードが設定されている場合は、「PDFパスワード」の項目にパスワードを入れてから「保存」します。

#### ・デメリット

- ① 過去に挿入したファイルを複数の記事の中から探すのに手間がかかります。
- ② 記事を削除してもファイルがサーバ上に残ってしまうため、完全にファイルを削除するには、管理者メニューからファイルを別途削除する必要があります。  
(管理者権限が必要になります。)
- ③ 自動作成された画像は、指定された数だけのファイルがサーバにアップロードされます。削除する場合は、すべての画像ファイルを削除する必要があります。